

第264回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和4年5月30日(月)～6月4日(土)
開催形式 Web開催 (オンデマンド配信、一部LIVE配信) ※会場での開催はございません
開催URL http://www2.convention.co.jp/jcs-kanto/chihoukai/kanto_264.html
会 長 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科
村松 俊裕

御 案 内

1. 参加費：会員 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料 ※初期研修医証明書、学生証必須
2. オンライン参加登録： http://www2.convention.co.jp/jcs-kanto/chihoukai/kanto_264.html
受付期間：5月16日(月) 正午～6月4日(土) 18:00
3. プログラム：教育セッション／会長企画セッション／生物統計セミナー／学術委員会企画セッション
第11回ダイバーシティ・フォーラム
日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム
学術委員会企画セッション／スポンサードセミナー／Awardセッション／一般演題
4. Award：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。
審査委員による第一次書類審査の選考後、地方会当日発表による二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、質疑4分)
【LIVE配信日時】
Student Award：6月4日(土) 16:00～16:50
Resident Award：6月4日(土) 16:00～16:50
Clinical Research Award：6月4日(土) 17:00～17:50
Case Report Award：6月4日(土) 17:00～17:50
なお、以下の項目が審査の対象となります。
1) 正しい医学用語の使用 4) 質問に対する応答
2) 発表時間の厳守と態度 5) 循環器臨床に対する貢献度
3) 考察
審査結果は会期終了後、地方会HPに掲載いたします。
5. 専門医単位登録：第264回地方会では下記単位の取得が可能です。
 - 地方会参加単位 (5単位必修)
オンライン参加登録後、264回Web視聴サイトにログインされた方に地方会参加単位を付与いたします。
 - 教育セッション単位 (3単位必修)
オンライン参加登録後、264回Web視聴サイトにて教育セッションを視聴された方に、教育セッション単位を付与いたします。視聴時間が規定未満の場合は単位が付与されませんのでご注意ください。
※単位取得方法の詳細は地方会HPに記載いたします。
※日本循環器学会単位の反映には会期終了後しばらくお時間をいただきます。
反映後は会員ポータルサイトでご確認いただけるようになります。
 - 心臓リハビリテーション認定指導士更新単位 (3単位)
※単位取得方法の詳細は地方会HPへ掲載いたします。

次回地方会：第265回地方会は次の通りです。

日 時：令和4年9月3日(土)
開催形式：ステーションコンファレンス東京 (千代田区)
会 長：丹野 郁 (昭和大学江東豊洲病院 循環器内科)

I 教育セッション

教育セッション I

【オンデマンド配信】6月4日（土）

心不全と不整脈を合併した患者の管理—不整脈医と心不全医の立場から— 座長（東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学）池田 隆徳

心不全の立場から

（東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学） 木内 俊介

不整脈と心不全の連関

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科／不整脈科）

池田 礼史

加藤 律史

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

村松 俊裕、岩永 史郎、中埜信太郎

教育セッション II

【オンデマンド配信】6月4日（土）

心不全を心臓超音波検査で診る

座長（埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科）岩永 史郎

心不全を心エコー図検査で深く評価する

（東海大学医学部 内科学系循環器内科）

永井 知雄

心不全指標を簡便に計測する

（慶應義塾大学病院 臨床検査科）

水上 尚子

II 会長企画セッション

会長企画セッション I

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

不整脈治療最前線

座長（日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野）清水 渉

ウルフーオオツカ法：非弁膜症性心房細動に対する完全胸腔鏡下手術

（ニューハート・ワタナベ国際病院 ウルフーオオツカ低侵襲心房細動手術センター）

大塚 俊哉

リードレスペースメーカー：現状と未来への期待

（杏林大学医学部付属病院循環器内科）

副島 京子

富樫 郁子、佐藤 俊明、星田 京子

会長企画セッション II

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

各都県による循環器病対策推進の取り組み：進捗報告

座長（東京大学医学部附属病院 心臓外科）小野 稔

座長（新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学）猪又 孝元

茨城県循環器病対策推進の取り組み

（筑波大学医学医療系 循環器内科）

家田 真樹

千葉県における循環器病対策推進の取り組み

（千葉大学 循環器内科）

小林 欣夫

（帝京大学ちば総合医療センター循環器内科学）

中村 文隆

（千葉大学心臓血管外科）

松宮 護郎

東京都の循環器病対策推進の取り組み：進捗報告
（日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野） 清水 渉
（日本医科大学 心臓血管集中治療科） 山本 剛

神奈川県における循環器対策の取り組み
（東海大学 循環器内科） 伊苺 裕二

山梨県における循環器病対策推進の現況～計画の策定が終了、新たな施策が始まった
（山梨大学医学部附属病院第二外科） 中島 博之
（山梨大学医学部附属病院循環器内科） 佐藤 明

長野県における循環器病対策推進計画
（信州大学 医学部 循環器内科） 桑原宏一郎

栃木県における循環器病対策推進の取り組み
（自治医科大学 循環器内科） 苺尾 七臣

循環器対策基本計画の群馬県における取り組みについて
（群馬大学 循環器内科学） 石井 秀樹
（群馬大学） 倉林 正彦
（群馬県立心臓血管センター） 安達 仁
（前橋赤十字病院） 丹下 正一

埼玉県における循環器病対策推進の取り組み
（防衛医科大学校 循環器内科） 足立 健

各都県による循環器病対策推進の取り組み—新潟県
（新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学） 猪又 孝元

Ⅲ 生物統計セミナー

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

明日から使える医療統計

座長（埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科）中埜信太郎

明日から使える医療統計～クリニカルクエストから論文作成まで一気通貫 part 1

（独立行政法人国立病院機構東京医療センター 総合内科） 新美 望

明日から使える医療統計～クリニカルクエストから論文作成まで一気通貫 part 2

（横浜市立大学 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻） 清水沙友里

Ⅳ 学術委員会企画セッション

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

冠動脈疾患患者における非心臓手術の周術期管理を考える 座長（千葉大学医学部附属病院 循環器内科）北原 秀喜
座長（横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター内科）岡田 興造

冠動脈疾患患者における周術期抗血栓療法最適化への取り組み
（北里大学医学部 循環器内科学） 下浜 孝郎

症例提示①

食道癌術後DOAC内服開始後に術後出血を呈した一例
（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科） 近藤 裕樹
佐藤 渉、佐藤 勉、國崎 主税

症例提示②

バイアスピリン内服下に施工したロボット支援下腎部分切除後に術後出血を来した1例
（北里大学医学部 泌尿器科学） 石井 大輔

非心臓手術周術期の循環器医の役割
（済生会川口総合病院 循環器内科） 高木 厚
門脇 拓、田中 一樹、植高恵美子、大藪謙次郎、
林 奈優佳

Ⅴ 第11回ダイバーシティフォーラム

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

第6回めざせ循環器専門医！循環器専門医試験対策セミナー 座長（東邦大学医療センター大森病院 循環器内科）中西 理子

新制度における研修について
（聖マリアンナ医科大学 循環器内科） 明石 嘉浩

新制度における循環器内科専門医の取得
（獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科） 田口 功

Ⅵ 日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会 関東甲信越支部の合同シンポジウム

【オンデマンド配信】5月30日（月）～6月4日（土）

症例から考える心臓リハビリテーション
—U40心不全ネットワークからの疑問に心リハのプロが答えます— 座長（聖マリアンナ医科大学 薬理学）木田 圭亮

オープニング/症例提示
U40心不全ネットワークからの疑問に心リハマニアが答えます
～今なぜ、心リハですか？ CPXで何がわかりますか？～
（杏林大学 循環器内科） 合田あゆみ

ミニレクチャー
CPXが心不全に出来る5つの事
（群馬県立心臓血管センター 循環器内科） 村田 誠

ミニレクチャー

ペースメーカー植込み患者に対する運動療法

(信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部) 山本 周平
(信州大学医学部附属病院) 樋口 智子

クロージング

(東海大学医学部附属八王子病院 循環器内科) 牛島 明子

ディスカッサント (三井記念病院 循環器内科) 堀内 優
ディスカッサント (東邦大学 循環器内科) 松本 新吾
ディスカッサント (日野市立病院 循環器内科) 庄司 聡
ディスカッサント (東海大学医学部附属八王子病院 循環器内科) 牛島 明子

Ⅶ スポンサーードセミナー

スポンサーードセミナー 1

【LIVE配信】6月4日 (土)

11:00-11:50

共催：MSD株式会社

座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科) 藤田 英雄

『糖尿病治療薬の新たな展開 ～経口GLP1受容体作動薬への期待～』

(埼玉医科大学／埼玉医科大学かわごえクリニック) 片山 茂裕

スポンサーードセミナー 2

【LIVE配信】6月4日 (土)

11:00-11:50

共催：株式会社ツムラ

座長 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科) 村松 俊裕

心臓カテーテル専門医が救われた漢方

(国際医療福祉大学医学部 循環器内科学) 河村 朗夫

スポンサーードセミナー 3

【LIVE配信】6月4日 (土)

12:00-12:50

共催：バイエル薬品株式会社

座長 (長野赤十字病院 不整脈診療科) 臼井 達也

「カテーテルアブレーションの最新技術と抗凝固療法」

(群馬県立心臓血管センター) 内藤 滋人

スポンサーードセミナー 4

【LIVE配信】6月4日 (土)

12:00-12:50

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長 (千葉大学医学部附属病院) 小林 欣夫

座長 (山梨大学医学部附属病院) 佐藤 明

「冠微小循環障害の診断と治療」

(小倉記念病院) 藏満 昭一

スポンサードセミナー5

【LIVE配信】6月4日（土）

13:00-13:50

共催：小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社
座長（埼玉医科大学 心臓内科 総合診療内科）山本 啓二

心不全新規治療薬と地域医療連携推進

（防衛医科大学校 循環器内科）

足立 健

スポンサードセミナー6

【LIVE配信】6月4日（土）

13:00-13:50

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社
座長（埼玉県立循環器・呼吸器病センター 循環器内科）武藤 誠

「SGLT-2阻害薬でHFpEFの予後は変わるか」

（埼玉医科大学総合医療センター 心臓内科）

重城健太郎

VIII Awardセッション

【LIVE配信】6月4日（土）

Student Award

16:00-16:50

座長（日本医科大学武蔵小杉病院 総合診療科）塚田(哲翁)弥生
座長（自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科）藤田 英雄
審査委員長（東京医科歯科大学 循環器内科）笹野 哲郎
審査委員（三井記念病院 循環器内科）田邊 健吾
審査委員（獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科）田口 功
審査委員（東京医科大学 循環器内科）近森大志郎

I-1 破裂性冠動静脈瘻に対して心拍動下結紮術を施行した一例

（日本医科大学 医学部第6学年）

前川 良

（日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科）

泉二 祐輔、網谷 亮輔、廣本 敦之、鈴木 憲治、

坂本俊一郎

（日本医科大学付属病院心臓血管外科）

石井 庸介

I-2 心筋架橋の解剖学的特徴と心筋虚血への関与について

（防衛医科大学校病院 医学科6年）

原 鈴枝

（防衛医科大学校病院 循環器内科）

東谷 卓美、永沼 嗣、安田理紗子、難波 貴之、

池上 幸憲、眞崎 暢之、長友 祐司、足立 健

I-3 糖尿病性心筋症の成因における膝由来ペプチドホルモンが及ぼす影響の検討

（東京医科歯科大学 医学部 医学科）

酒井 力輝

（東京医科歯科大学病院 循環器内科）

前嶋 康浩、中釜 瞬、笹野 哲郎

I-4 目視と機械解析のP波幅と左房径、心血管イベントの関連

（自治医科大学 医学部 5年生）

川口 大嘉

（自治医科大学 医学部）

高野 大河、本馬 直喜

（自治医科大学 内科学講座 循環器内科学部門）

甲谷 友幸、星出 聡、苅尾 七臣

I-5 大動脈弁基部置換術後人工血管感染に対する再手術の治験例

（東京慈恵会医科大学 医学部医学科）

玉川 佳澄

（東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科）

有村 聡士、大山 翔吾、山内 淳平、高木 智充、

阿部 貴行、松村 洋高、益澤 明広、儀武 路雄、

長堀 隆一、坂東 興、國原 孝

【LIVE配信】6月4日（土）

Resident Award

16:00-16:50

座長（北里大学医学部 循環器内科学） 阿古 潤哉
座長（千葉大学 循環器内科学） 小林 欣夫
審査委員長（群馬大学 循環器内科） 石井 秀樹
審査委員（埼玉医大国際医療センター 心臓内科・不整脈科） 加藤 律史
審査委員（東京大学医学部附属病院 循環器内科 / 高度心不全治療センター） 波多野 将
審査委員（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野（大橋）） 諸井 雅男

II-1 乳腺外科との緻密な連携により乳癌由来の肺腫瘍血栓性微小血管症（PTTM）に対する早期治療が奏功した一例

（獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科） 華 臻丞
（獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 / 獨協医科大学埼玉医療センター 超音波センター） 板橋 裕史、小林 さゆき
（獨協医科大学埼玉医療センター 超音波センター） 越川 優里、東 彩子、田口 功

II-2 経皮的動脈弁植込み術中の血圧低下の原因としてヘパリンによるアナフィラキシーショックが疑われた一例

（東京大学医学部附属病院 循環器内科） 荻原 熙
三浦 瑞樹、安東 治郎、佐藤 将敬、中山 幸輝、
滝口 洋、加門 辰也、桐山 皓行、武田 憲文、
小室 一成
（東京大学医学部附属病院 心臓外科） 安藤 政彦、山内 治雄
（東京大学医学部附属病院 麻酔科） 岩切 正樹、森 芳映

II-3 高度房室ブロックを伴う心サルコイドーシスに対し、植込み型除細動器植込みを選択後、適切作動を認めた一例

（武蔵野赤十字病院 循環器科） 東條 真有
新田 義一、岸上 哲也、中島 良太、照井 麻央、
堀江 知樹、大方信一郎、長瀬 将、渡辺 敬太、
宮崎 亮一、永嶺 翔、金子 雅一、李 哲民、
永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志
（東京医科歯科大学医学部附属病院） 笹野 哲郎

II-4 診断に苦慮した右室機能障害優位の心サルコイドーシスの一例

（北里大学病院） 小森友花子
（北里大学医学部循環器内科学） 飯田祐一郎、藤田 鉄平、池田 祐毅、石井 俊輔、
小坂橋俊美、阿古 潤哉

II-5 非侵襲的低体温療法中に発症した難治性心室細動の一例

（群馬大学 医学部附属病院 循環器内科） 磯部いの八
藍原 和史、藤井 孝成、谷内 亮太、佐野 幸恵、
天内 一郎、石橋 洋平、長坂 崇司、高間 典明、
小坂橋紀通、石井 秀樹

[LIVE配信] 6月4日 (土)

Clinical Research Award

17:00-17:50

座長 (信州大学 医学部 循環器内科) 桑原宏一郎
座長 (東海大学医学部附属病院 内科学系循環器内科学) 伊苺 裕二
審査委員長 (慶應義塾大学医学部 循環器内科) 佐野 元昭
審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学) 葛西 隆敏
審査委員 (杏林大学医学部 循環器内科) 河野 隆志
審査委員 (日本医科大学千葉北総病院 循環器内科) 宮内 靖史

Ⅲ-1 ステント内新生動脈硬化に対する近赤外線分光法を用いた脂質内膜評価の有用性及び光干渉断層法との比較検討

(順天堂大学 大学院医学研究科 循環器内科学講座)

竹内 充裕
土肥 智貴、深瀬 達也、西尾 亮太、高橋 徳仁、
遠藤 裕久、西山 大樹、土井信一郎、岡井 巖、
岩田 洋、岡崎 真也、宮内 克己、代田 浩之、
南野 徹
松村 光章

(順天堂大学 大学院医学研究科 循環器内科学講座/Clinical Trials Center, Cardiovascular Research Foundation)

Ⅲ-2 多枝病変を有する急性心筋梗塞における、非責任病変の慢性完全閉塞群と90-99%狭窄群の中長期予後比較の検討

(自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科)

藤本 雄大
坂倉 建一、陣内 博行、谷口 陽介、津久井卓伯、
渡邊 裕介、山本 慶、瀬口 優、和田 浩、
藤田 英雄

Ⅲ-3 経カテーテルの人工弁におけるエコー圧較差の検証：LAPLACE-TAVIレジストリデータより

(榊原記念病院 循環器内科)

山崎智永実
樋口 亮介、萩谷 健一、佐地 真育、高見澤 格、
七里 守、井口 信雄、高山 守正

(榊原記念病院 心臓血管外科)

清水 篤

(榊原記念病院 麻酔科)

清水 淳

(順天堂大学附属順天堂医院 循環器内科)

土井信一郎、岡崎 真也

(山形大学附属病院 第一内科)

田村 晴俊

(三重大学附属病院 循環器内科)

佐藤 圭

(弘前大学医学部附属病院 循環器内科)

横山 公章

(川崎幸病院 循環器内科)

大西 隆行、桃原 哲也

(川崎幸病院 心臓血管外科)

高梨秀一郎

Ⅲ-4 低心機能心房細動症例においてアブレーション前CTによる左室細胞外容積解析は心機能回復予測に有用である

(東千葉メディカルセンター 循環器内科)

西川 侑成
金枝 朋宣、鈴木 櫻丸、高平 青洋、若林 慎一、
佐野 剛一

(千葉大学 循環器内科)

高橋 愛、八島 聡美、佐々木晴香、江口 紀子、
木下真己子、高岡 浩之、小林 欣夫

Ⅲ-5 心不全患者におけるトルバプタン投与後の骨格筋量、栄養状態の変化

(防衛医科大学校 循環器内科)

木村 大地

長友 祐司、木村 豊和、人見 泰弘、永沼 嗣、
前川原慧則、姫野 雅史、内藤 朱美、安田理紗子、
東谷 卓美、池上 幸憲、難波 貴之、眞崎 暢之、
足立 健

【LIVE配信】6月4日（土）

Case Report Award

17:00-17:50

座長（日本大学医学部 内科学系循環器内科分野）奥村 恭男
座長（防衛医科大学校 循環器内科）足立 健
審査委員長（横浜市立大学附属病院 循環器内科）石川 利之
審査委員（昭和大学 医学部 内科学講座 循環器内科学部門）新家 俊郎
審査委員（新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学）猪又 孝元
審査委員（榊原記念病院 循環器内科）井口 信雄

IV-1 初回発作で心肺停止を来したWPW症候群の16歳男性

（横浜市立大学附属病院 循環器内科）

岡崎 善則
井上 満穂、成川 雅俊、田口 有香、細田 順也、
石川 利之、田村 功一

IV-2 ポンプ失調を伴う急性心筋炎を合併した混合性結合組織病の1例

（虎の門病院 循環器センター内科）

宮本 燎平
藤原 秀臣、山口 徹雄、児玉 隆秀

（虎の門病院 健康管理センター・画像診断センター）

大本 由樹

IV-3 COVID-19 mRNAワクチン接種後の心筋炎に対して免疫抑制療法を行い奏功した2症例の検討

（筑波大学附属病院 循環器内科）

鮎澤 祥吾
山本 昌良、矢口 拓実、田尻 和子、家田 真樹

IV-4 本態性血小板血症に併発した急性心筋梗塞後のDAPT期間に苦慮した1例

（町田市民病院 循環器内科）

村松 裕介
美蘭田 純、竹村 仁志、佐々木 毅、池田 泰子、
黒澤 利郎

（北里大学病院 循環器内科）

阿古 潤哉

IV-5 成人期に初めて診断に至った先天性門脈体循環短絡症とその合併症

（東京大学医学部附属病院 循環器内科）

後藤 耕策
中山 幸輝、齊藤 暁人、八木 宏樹、皆月 隼、
武田 憲文、波多野 将、小室 一成

Ⅹ 一般演題

【オンデマンド配信】セッションⅠ

心筋炎・心筋症Ⅰ

- I-1 “心臓サルコイドーシスの診断”が困難な完全房室ブロックの一例
(順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科) 延島 優香
降旗 高明、樫野友利奈、阿部 圭希、藤田 航、
高橋 徳仁、海老名秀城、内藤 亮、土肥 智貴、
南野 徹
- I-2 COVID-19ワクチン接種後心筋炎をきたした成人男性の3例
(昭和大学藤が丘病院 循環器内科) 久保田芽生
磯 良崇、和田 大輔、曾根 浩元、小貫 龍也、
鈴木 洋
(昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座) 田中 道子、須永登美子
- I-3 完全房室ブロックの治療過程で診断された心アミロイドーシスの一例
(新小山市市民病院) 春成 智彦
森田 愛理、石橋 和世、菊池 達郎、西村 芳興、
大谷 賢一、島田 和幸
(自治医科大学) 原田 顕治、苅尾 七臣
- I-4 僧帽弁複合体異常に伴う僧帽弁収縮期前方運動が原因と考えられた左室流出路狭窄の一例
(SUBARU健康保険組合 太田記念病院 循環器内科) 杉本 英純
三輪 俊介、鮫島 雄佑、北野 奨真、高江洲 悟、
矢口 知征、清水 貴之、佐原 尚彦、武中 宏樹、
根本 尚彦、安齋 均
- I-5 補助循環装置で救命し得たが、恒久的ペースメーカーを要した劇症型心筋炎の1例
(東京医科歯科大学 循環器内科) 中島 聡良
大森 真理、菅野 義典、中尾 仁彦、雨宮 未季、
池ノ内 孝、鎌田 龍明、山本 佑、仁井田崇志、
松田 祐治、臼井 英祐、松田 隼治、西村 卓郎、
落田 美瑛、田尾 進、滝川 正晃、梅本 朋幸、
米津 太志、宮崎 晋介、前嶋 康浩、合屋 雅彦、
笹野 哲郎
- I-6 重症僧帽弁閉鎖不全症を合併したファブリー病の一例
(横浜労災病院 循環器内科) 西堂 寛和
長田 淳、柚本 和彦、青木 元、小和瀬晋弥、
田中 真吾、福澤 朋幸、大津 和也、浅野 駿逸、
堀米 旭、竹内 幹人、本道 春花、沖殿祐太郎、
藤村公一郎、久松菜未子、真鍋 雄二

I-7 心ファブリー病の拘束型心筋障害を呈する末期心不全に対して治療が難渋した一例

(横浜市立市民病院 循環器内科) 大平 麻貴
高野 薫子、小澤 貴暢、北島 龍太、檜村 晋、
酒井 正憲、新村 大輔、福本耕太郎、小浦 貴裕、
根岸 耕二
(慶應義塾大学病院 循環器内科) 山川 裕之

【オンデマンド配信】セッションⅡ

心筋炎・心筋症Ⅱ

II-1 高齢肥大型心筋症患者に複合循環器疾患を併発した一例

(帝京大学 医学部) 秋元 美穂
(帝京大学 医学部 循環器内科) 紺野久美子、大宮 讓、近藤 彬令、太田 龍哉、
片山 大河、高村慎太郎、初野 弥奈、渡 雄至、
渡邊 雄介、横山 直之、上妻 謙

II-2 二種類のM蛋白出現によって持続性心室頻拍で急性発症した多発性骨髄腫合併心アミロイドーシスの一例

(東京都立多摩総合医療センター 循環器内科) 田中 西佳
森永 弘章、三輪 裕仁、中村 沙織、河内 啓貴、
中村 真、守井 悠祐、任 芝杏、尾川 理紗、
櫻井進一朗、安西 耕、宮部 倫典、塩崎 正幸、
大塚 佳満、西村 陸弘、三ツ橋佑哉、加藤 賢、
田中 博之

II-3 多発性脳梗塞を発症した好酸球性心筋炎の1例

(牛久愛和総合病院 循環器科) 武島 宏
打越 裕之、山崎 明、飯野 均、藤縄 学

II-4 肥大型心筋症として経過観察中に進行性伝導障害からトランスサイレチン心アミロイドーシスと診断された一例

(東京女子医科大学 医学部 5年) 肥田美由紀
(東京女子医科大学病院 循環器内科) 中澤まゆい、菊池 規子、神林 敬悟、長柄希実子、
嵐 弘之、吉澤佐恵子、鈴木 敦、南 雄一郎、
萩原 誠久
(立正佼成会附属佼成病院 循環器内科) 今村 泰崇

II-5 閉塞性肥大型心筋症に重症僧帽弁狭窄症を合併した一例

(平塚共済病院 循環器内科) 西尾 祥郎
安井 由美、伊藤 諒、竹川 弘毅、住野 陽平、
秋吉 基光、岩井 慎介、加藤 信、村本 容崇、
樋口 晃司、小林 一士、大西 祐子、佐藤 康弘

II-6 完全房室ブロックを併発した劇症型心筋症の1例

(済生会横浜市東部病院 循環器内科) 村井 篤弥
伊藤 良明、合田秀太郎、瀬戸長雄介、香西 裕樹、
加地 大悟、深川 知哉、岸田登志彦、安部香緒里、
中野 孝英、山口 航平、水澤 真文、白井 重光、
知識 俊樹、牧野 憲嗣、本多 洋介、堤 正和、
毛利 晋輔、平石 真奈、小林 範弘、山脇 理弘

II-7 ICD植え込み時期に関して検討した心臓サルコイドーシスの一例

(東京医科大学 医学部 循環器内科) 高田洋一郎
藤井 昌玄、高橋 孝通、中山 知章、小菅 寿徳、
近森大志郎

【オンデマンド配信】セッションⅢ

虚血性心疾患 I

Ⅲ-1 心原性ショックを呈した左主幹部の急性心筋梗塞に対してImpella補助後に緊急PCIを施行した一例

(川崎幸病院) 門間 周
安藤 智

Ⅲ-2 COVID-19ワクチン接種後に発症した若年ST上昇型心筋梗塞の1例

(東大和病院 循環器科) 松尾 勇氣
加藤 隆一、大山 亮、吉田 善紀、吉野 千代、
石野 光則、桑田 雅雄

Ⅲ-3 スペクトラルCTを用いた冠動脈評価における至適仮想単色X線エネルギー設定の検討

(千葉西総合病院 循環器内科/国際医療福祉大学市川病院 循環器内科) 船橋 伸禎
(千葉西総合病院 循環器内科) 田口 重文、新谷 政樹、西岡 道知、高橋茉理瑛、
佐野 拓真、春木 匠悟、山元 昇栄、橋本 慎也、
山崎 隆広、横田 光俊、倉持 雄彦、三角 和雄
(Philips Japan) 鯨井 隆介

Ⅲ-4 経皮的冠動脈形成術後に僧帽弁乳頭筋断裂と心室中隔穿孔を立て続けに生じ、外科的介入で救命に至った一例

(J A長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 循環器内科) 有賀 智輝
橋 賢廣、滝 美波、長谷川智也、土屋ひろみ、
柳澤 聖、荻原 真之、南野 安正、木村 光、
矢崎 善一

Ⅲ-5 塩酸モルヒネ投与により急性ステント内血栓症をきたした一例

(SUBARU健康保険組合 太田記念病院) 三輪 俊介
杉本 英純、鮫島 雄佑、北野 奨真、高江洲 悟、
矢口 知征、能戸 辰徳、清水 貴之、武中 宏樹、
根本 尚彦、安斎 均

Ⅲ-6 外科的な治療前、DAPT休業中に第一世代Sirolimus Eluting Stent留置部にVLSTを生じた症例

(獨協医科大学病院 心臓・血管内科/循環器内科) 鈴木立二郎
戸倉 通彰、西野 節、金谷 智明、佐久間理史、
阿部 七郎、豊田 茂

Ⅲ-7 巨大冠動脈瘤を合併した多発冠動脈-肺動脈瘻の1例

(柏崎総合医療センター 循環器内科) 薄田 英樹
井田 徹
(柏崎総合医療センター 循環器内科/新潟大学 医学部 循環器内科) 若杉 嵩幸

Ⅲ-8 たこつぼ型心筋症様の左室壁運動障害、高血圧クレーゼを呈した褐色細胞腫の一例

(総合病院 土浦協同病院 循環器内科) 左山 耕大
杉山 知代、星野 昌弘、羽田 昌浩、三澤 透、
長嶺 竜宏、上野 弘貴、松田 和樹、角田 恒和

【オンデマンド配信】セッションⅣ

虚血性心疾患Ⅱ

Ⅳ-1 心筋梗塞後、偽性仮性心室瘤を呈した一例

(イムス東京葛飾総合病院)

今峰衣理香

中田 晃裕、進藤 一紘、中野 恵美、仲村 佳典、
白濱 尚治、小松 宏貴、朴沢 英成

Ⅳ-2 急性心筋梗塞後、亜急性期に冠動脈二腔構造を認めた一例

(東京都立広尾病院 循環器科)

水沼 吉章

土山 高明、佐々木高史、山岡広一郎、竹田 康佑、
鯨岡 裕史、新井 智之、稲垣 大、吉田 精孝、
木村 高志、高橋 正雄、増田 怜、北條林太郎、
深水 誠二

Ⅳ-3 V-A ECMO下で両側冠動脈起始部にカテーテル治療を行い救命に成功した高安動脈炎の1例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

住吉 まり

高橋 徳仁、遠藤 裕久、阿部 圭希、高須 清、
内藤 亮、清水 逸平、土肥 智貴、岩田 洋、
南野 徹

Ⅳ-4 NIRS-IVUSで特徴的な画像所見を示すIgG4関連疾患に合併した冠動脈狭窄の一例

(杏林大学医学部付属病院 循環器内科)

岡本 陽

小山 幸平、若林 典弘、三浦 佑介、新名 良広、
三浦 陽平、田島 幸佳、福士 圭、舟橋紗耶華、
山崎 博之、斉藤 竜平、金剛寺 謙、副島 京子

Ⅳ-5 COVID-19ワクチン接種後に発症した特発性冠動脈解離の一例

(埼玉医科大学 総合医療センター 心臓内科)

小形 円香

神山 哲男、安藤 敏行、志村 暢紀、森本 晋平、
山口隆太郎、田中 慎司、井上 芳郎、西岡 利彦、
松陰 崇

Ⅳ-6 冠動脈瘤の経時的多発増悪を認めた拡張型心筋症の一例

(日本赤十字社医療センター 循環器内科)

小林 裕貴

越田 直也、堀江 華奈、黒木菜見人、金子 沙樹、
山本 溪介、瀧澤 雅隆、魚住 博記、池ノ内 浩

Ⅳ-7 急性心筋梗塞の病態に冠動脈拡張症が関与したと考えられる1例

(国立病院機構西埼玉中央病院 循環器内科)

小山 達也

橋本 浩一、吉野 拓哉

(東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科)

吉村 道博

Ⅳ-8 心原性ショックで搬送されImpella挿入し救命できた2例～Impella離脱の当院の考え方～

(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

永井 充伸

松尾 圭祐、関 要、保谷 洋貴、長谷川早紀、
筋野 容守、杉 佳紀、中埜信太郎、村松 俊裕

【オンデマンド配信】セッションV

心不全

- V-1 Refeeding症候群の治療に難渋したこつば型心筋症による心不全が遷延した重症神経性食思不振症の1例
(自治医科大学附属病院 循環器内科学部門) 和地 純佳
成田 圭佑、坂田 知久、篠原 肇、桂田 健一、
上岡 正志、原田 顕治、菊尾 七臣
- V-2 HCN4チャンネル遮断薬イバブラジンが急性期心不全の新しい治療戦略として奏功した一例
(昭和大学 医学部内科学講座 循環器内科学部門) 中澤 幹
塚本 茂人、大石 庸介、中村 友哉、福岡 裕人、
近藤 誠太、木庭 新治、新家 俊郎
- V-3 顕微鏡的多発血管炎(MPA)がうっ血性心不全(HFpEF)の発症に影響をもたらしたと考えられた一例
(聖隷横浜病院 心臓血管センター内科) 長谷川和喜
河合 慧、福田 正、山田 亘、中島 啓介、
乗松 東吾、新村 剛透、芦田 和博
- V-4 心原性ショックを呈したたこつば症候群の一例
(聖マリアンナ医科大学 循環器内科) 芦川 有美
栗田 真吾、庄司 達朗、土井 駿一、小林 芳邦、
佐藤 如雄、石橋 祐記、出雲 昌樹、原田 智雄、
明石 嘉浩
- V-5 左腎臓癌に併発した腎動静脈瘻が原因で心不全をきたした一例
(横浜市立市民病院 循環器内科) 高野 薫子
大平 麻貴、小澤 貴暢、北島 龍太、樫村 晋、
酒井 正憲、新村 大輔、福本耕太郎、小浦 貴裕、
根岸 耕二
(横浜市立市民病院 泌尿器科) 杉村留実子、船橋 亮
(横浜市立市民病院 放射線科) 鳥井 郁雄
- V-6 治療開始後早期に3剤の心不全基本治療薬を投与し早期に左室機能が改善したHFpEFの一例
(社会医療法人社団 順江会 江東病院 循環器内科) 山下 晴世
高部 智哲、松本 貴宏、梶原 淳、山本 翔一、
田宮 栄治、加納 達二
- V-7 著明な低カルシウム血症による反復性心不全を呈し、診断に苦慮した若年女性の症例
(上尾中央総合病院 循環器内科) 浅野 峻見
中野 将孝、二瓶 嵩久、北村 健、齋藤 智久、
谷本 周三、増田 尚己、緒方 信彦、一色 高明

【オンデマンド配信】セッションVI

不整脈/デバイス I

- VI-1 三尖弁置換術後の徐脈性心房細動に対してリードレスペースメーカー植え込み術を行った一例
(独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 循環器内科) 坂井 政之
菊池 健介、菊池 春香、芹川 直輝、小林 猷、
松井 優子、吉川 将史、前田 遼造、塚本 圭、
齋藤 貴士、森 文章

- VI-2 低左心機能不全を発症しカテーテルアブレーションが奏功したWPW症候群の一例
 (聖マリアンナ医科大学病院 循環器内科) 石垣 彩
 中島育太郎、中山 由衣、須知 太郎、富樫 大輔、
 佐々木憲一、出雲 昌樹、原田 智雄、明石 嘉浩
- VI-3 左房後壁隔離にEnSite X Omnipolar Technologyのactivation vectorsが有用だった一例
 (独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 循環器内科) 松井 優子
 坂井 政之、菊池 健介、芹川 直輝、菊池 春香、
 小林 献、吉川 将史、前田 遼造、塚本 圭、
 齋藤 貴士、森 文章
- VI-4 心房細動アブレーション後の肺塞栓症に対し、抗凝固療法が特異的な反応を示したプロテインC欠乏症の
 一例
 (心臓血管研究所付属病院) 小木曾 翔
 大塚 崇之、有田 卓人、八木 直治、鈴木 信也、
 山下 武志
- VI-5 対面授業でのコメディカルを対象とした心電図検定勉強会とその成績と問題点
 (国際医療福祉大学市川病院 循環器内科) 船橋 伸禎
 (国際医療福祉大学市川病院 看護部) 中橋 一子
- VI-6 Omnipolar mappingとEntrainment pacingを用いて頻拍回路を検証しえたDual-loop atrial tachycardia の1
 例
 (獨協医科大学病院 心臓・血管内科/循環器内科) 齋藤 郁太
 南 健太郎、増山 大樹、北川 善之、豊田 茂
 (獨協医科大学日光医療センター 循環器内科) 堀江 康人
- VI-7 当院での90歳以上でDOACを導入した症例の検討
 (成田赤十字病院 循環器内科) 田邊 裕也
 (松戸市立総合医療センター 循環器内科) 福島 賢一、大北 翔吾、高橋 秀尚、堀 泰彦

【オンデマンド配信】セッションⅦ 不整脈/デバイスⅡ

- Ⅶ-1 リードレスペースメーカー植込み時にテザーが断線し、スネアで回収した一例
 (東京医科大学病院 循環器内科) 楠目 宝大
 矢崎 義直、高田 康之、寺澤 無量、寶田 顕、
 里見 和浩
- Ⅶ-2 メドトロニックVCM使用中にペースング不全を来した2例
 (NTT東日本関東病院) 西條 大悟
 佐藤 高栄、春木 耀介、久米 里実、山崎 允喬、
 澤田 直子、持田高太朗、生富 公康、松下匡史郎、
 山崎 正雄
 (社会医療法人財団 石心会 さやま総合クリニック) 大西 哲
- Ⅶ-3 SGLT2阻害薬に伴う正常血糖ケトアシドーシスが誘因と考えられた入院中の持続性心室頻拍の一例
 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 循環器内科) 山崎 吉人
 香山 洋介、中山 稜、船木 隆司、王 琢矢、
 横山 賢一、滝沢信一郎、森 力、芝田 貴裕
 (東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科) 吉村 道博

VII-4 完全房室ブロックにてペースメーカー植込み後感染症に対して、リード抜去後にMicra™ AVを留置した2症例

(横浜市立大学附属病院 循環器内科) 宮川 秀一
細田 順也、岡崎 善則、成川 雅俊、田口 有香、
石川 利之、田村 功一

(横浜市立大学附属病院 循環器内科/藤沢市民病院 循環器内科) 井上 満穂

VII-5 経大動脈から経中隔アプローチに変更し左前線維三角アブレーションで根治した左室流出路起源心室期外収縮

(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科) 清水 厚哉
山内 康熙、山口 雄大、工藤 侃、原 果里奈、
小田 淳仁、新井 紘史、須藤 洸司、佐川雄一郎、
重田 卓俊、浅野 充寿、鈴木 秀俊、志村 吏左、
有馬 秀紀、倉林 学

(東京医科歯科大学 循環制御内科学) 笹野 哲郎

VII-6 Local Impedance(LI)カテーテル(StablePoint)のlesion formationと焼灼時間、Local Impedanceに関する検討

(埼玉医科大学国際医療センター) 川野 大輔
森 仁、加藤 律史、田中 尚道、永沼 嗣、
筒井 健太、池田 礼史、岩永 史郎、中埜信太郎、
村松 俊裕、松本 万夫

【オンデマンド配信】セッションⅧ

弁膜症

VIII-1 ウシ心膜を用いた右小開胸大動脈弁再建術 (MICS-Ozaki法) の1例

(東邦大学医療センター大橋病院 心臓血管外科) 片岡 紘士
尾崎 重之、高遠 幹夫、清原 久貴

VIII-2 大動脈弁置換術後早期に高度弁周囲逆流を発症し、パーチェット病の診断に至った一例

(千葉県循環器病センター 循環器科) 浅田 一成
原田 順哉、芝 大樹、清水 太郎、矢野恵里子、
小澤 大介、平沼 泰典、伊藤 良浩、田永 幸正、
井上 寿久、中村 精岳
(千葉県循環器病センター 心臓血管外科) 阿部真一郎、浅野 宗一

VIII-3 経皮的僧帽弁接合不全修復術が奏功した超高齢・急性僧帽弁閉鎖不全症の1例

(昭和大学江東豊洲病院 循環器内科) 池上 加真
池田 尚子、石永 智之、森村 光幸、相澤 直樹、
鈴木 敏晃、柴田 恵多、古屋 貴宏、佐藤 千聡、
西蔵 天人、菊地 美和、若林 公平、丹野 郁

VIII-4 2度のDVR術後に生じた高度石灰化を有する僧帽弁位PVLに対し、Manouguian法によるre-DVRを施行した一例

(榊原記念病院 心臓血管外科) 御子柴晴樹
在國寺健太、下川 智樹

Ⅷ-5 強固なMACを伴う重症僧帽弁狭窄症と大動脈弁位人工弁機能不全対するManouguian法を用いた二弁置換術の一例

(千葉西総合病院 心臓血管外科) 武笠厚太郎
中村 喜次、安元 勇人、吉山 大貴、黒田 美穂、
澤 慎太郎、中山 泰介、伊藤雄二郎、鶴田 亮、
成田 卓也
(聖路加国際病院 心臓血管外科) 阿部 恒平

Ⅷ-6 繰り返す胸痛と循環不全を契機に診断に至ったEclipsed MRの1例

(新潟大学医歯学総合病院 循環器内科) 袴田 崇裕
大久保健志、佐藤 聡磨、渡辺 光洋、久保田直樹、
高山 亜美、八木原伸江、保屋野 真、柏村 健、
尾崎 和幸、猪又 孝元
(新潟大学医歯学総合病院 心臓血管外科) 三島 健人

Ⅷ-7 1本の高位側壁(HL)枝の急性心筋梗塞により、前乳頭筋断裂を引き起こした一例

(山梨県立中央病院 循環器内科) 市川 優真
梅谷 健、佐野 圭太、中村 政彦、牧野 有高、
矢野 利明、清水 琢也、石川諒太郎、深澤 洗樹、
江口 実佑

【オンデマンド配信】セッションⅩ

先天性/肺高血圧

Ⅸ-1 特発性肺動脈性肺高血圧症に対して初期併用療法に一酸化窒素吸入を追加したことで早期に改善した一例

(東京都立墨東病院 循環器科) 馬淵 ゆり
平野 仁士、大河内実希子、長塩 憲司、
青山 拓令、大橋 浩一、高山 陽、木全 啓、
服部 愛、黒木 識敬、安倍 大輔

Ⅸ-2 家族内発生した若年の心筋緻密化障害の1例

(横浜南共済病院 循環器内科) 角田 貴大
山上 洋介、木村 茂樹、宮崎 紘子、張 峻模、
三須 彬生、立石 遼、山口 正男、島田 博史、
萬野 智子、一色 亜美、清水 雅人、藤井 洋之、
鈴木 誠
(東京医科歯科大学 循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅸ-3 治療に難渋した広範型急性肺血栓塞栓症の一例

(相模原協同病院 循環器科) 虎岩めぐみ
杉本 篤彦、干場 泰成、伊藤 大起、田宮 青磁、
吉澤 智治、澤田 朋和、坂本 容規、土居 祥子、
荒川 雄紀、石崎 裕弥、渡辺 友樹

Ⅸ-4 術式不明の心臓手術歴を有する肺高血圧症疑いの成人性先天性心疾患の1例

(北里大学 医学部 初期研修医) 川口 祐嗣
(北里大学 循環器内科学) 藤田 鉄平、江田 優子、矢崎 麻由、飯田祐一郎、
池田 祐毅、石井 俊輔、小坂橋俊美、阿古 潤哉

【オンデマンド配信】セッションX

心膜・腫瘍/心内膜炎

- X-1 巨大左房粘液腫により僧帽弁狭窄を呈した急性左心不全の一例～発熱/COVID19東京ルールにて搬送～
(東京品川病院 循環器内科) 田尻 勇太
高木 拓郎、李 哲雄
- X-2 心タンポナーデを来したウイルス性心膜炎の一例
(多摩南部地域病院 循環器内科) 上関友里絵
瀬戸口雅彦、渡邊 良太、水谷 知泰、小川 亨、
吉崎 彰
- X-3 多発脳梗塞を契機に発見されたCaseous calcification of mitral annulusの1例
(伊勢崎市民病院 循環器内科) 渡邊 真
樋口 京介、菊地聡一郎、戸田 和辰、椎名 貴行
(伊勢崎市民病院 心臓血管外科) 大林 民幸、大木 聡
(伊勢崎市民病院 脳神経内科) 長嶺 俊
- X-4 僧帽弁に発生した乳頭状線維弾性腫に対して胸腔鏡下腫瘍摘出術を施行した1例
(日本鋼管病院) 辻畑志帆子
酒井 哲郎、斎藤 丈、細川 哲、李 慧玲、
南雲美也子
(虎ノ門病院) 太田 光彦、田端 実
- X-5 余剰腱索との鑑別を要する索状構造物を認めた感染性心内膜炎の1例
(埼玉医科大学 総合診療内科) 草野 武
斎藤 雅也、青柳龍太郎、菅野 龍
(埼玉医科大学 総合診療内科/埼玉医科大学 心臓内科) 飯田慎一郎、山本 啓二
- X-6 外科的腫瘍摘除術後も再々発をきたした左房粘液腫の一例
(国立国際医療センター病院 循環器内科) 黒住 篤優
岡崎 徹、北見 有以、富所 大輝、石渡 麻衣、
江本 桜子、長井 蘭、三宅 渉、山本 純平、
鳥居 俊介、久保田修司、中川 堯、山本 正也、
原 久男、廣井 透雄
(国立国際医療センター病院 心臓血管外科) 宝来 哲也
- X-7 肺動脈弁直下の右室流出路に付着する心房粘液腫により慢性血栓塞栓性肺高血圧症をきたした1例
(筑波大学 循環器内科) 川邊 優希
佐藤 希美、川松 直人、山本 昌良、町野 智子、
石津 智子、家田 真樹
- X-8 人工弁感染性心内膜炎に弁輪部膿瘍を合併し、診断に苦慮した一例
(東京女子医科大学 循環器内科) 吉村 麻未
齋藤 千紘、吉田 彩乃、芦原 京美、萩原 誠久
(東京女子医科大学 心臓血管外科) 新浪 博士
- X-9 *Lactococcus garvieae*による感染性心内膜炎の剖検例
(豊島病院 循環器内科) 山川 祐馬
畑 明宏、佐藤 國芳、埜本 優太、藤波 竜也、
中村 知史、渋谷 敬志
(東京医科歯科大学病院 循環器内科) 笹野 哲郎

【オンデマンド配信】セッションXI

腫瘍循環器

XI-1 アバルマブによる心筋障害が疑われた一例

(日本医科大学多摩永山病院 循環器内科)

中島 悠希
齋藤 恒徳、上杉 智香、諸岡 雅城、大塚 悠介、
渡辺 允、石原 翔、鈴木 啓士、中野 博之、
小谷英太郎
清水 渉

(日本医科大学付属病院 循環器内科)

XI-2 アキシニチブ投与により低心機能心不全を呈した一例

(日本大学病院 循環器内科)

神足佐和子
八木 司、野牛 聖那、松尾 礼、池田 敦、
松本 直也
奥村 恭男

(日本大学 医学部 内科学系 循環器内科学分野)

XI-3 進行肺癌化学療法中に冠動脈塞栓によるST上昇型急性心筋梗塞を両冠動脈に繰り返し発症した一例

(練馬光が丘病院 循環器内科)

山下 貴大
荒尾憲司郎、西成田 亮、世沢 文音、玉那覇雄介、
間瀬 卓顕

XI-4 外来化学療法中にVTE、急性心筋梗塞、多発性脳梗塞を続発し、Trousseau症候群と考えられた進行膀胱癌の一例

(群馬大学医学部附属病院 循環器内科)

藤井 孝成
藍原 和史、谷内 亮太、佐野 幸恵、天内 士郎、
石橋 洋平、長坂 崇司、高間 典明、小板橋紀通、
石井 秀樹

【オンデマンド配信】セッションXII

大動脈/末梢血管

XII-1 胸痛から診断された限局性大動脈内膜破綻の一例

(日本医科大学 医学部 循環器内科)

岡田 泰司
坪 宏一、久保田芳明、岡島 周平、新井 俊貴、
高圓 雅博、澁谷 淳介、清水 渉
浅見 慎思、田中 匡成、星加 優、岡 英一郎、
塩村 玲子、松田 淳也、中田 淳、宮地 秀樹、
山本 剛、岩崎 雄樹
齋藤 英正、上田 達夫

(日本医科大学 医学部 心臓血管集中治療科)

(日本医科大学 医学部 放射線科)

XII-2 診断に難渋した腸骨動脈瘤破裂の1例

(東京医科大学病院 循環器内科)

中島 悠希
富士田康宏、高橋 梨紗、寶田 顕、山下 淳、
近森大志郎

XII-3 孤立性内臓動脈解離(腹腔動脈、脾動脈、総肝動脈-固有肝動脈)の1例

(埼玉医科大学病院 総合診療内科)

齋藤 雅也
草野 武、青柳龍太郎、菅野 龍
飯田慎一郎、山本 啓二

(埼玉医科大学病院 総合診療内科/埼玉医科大学病院 心臓内科)

XII-4 慢性腎不全、大動脈弁閉鎖不全・心房中隔欠損を合併した多発性胸部大動脈瘤の1例

(順天堂大学医学部附属練馬病院 心臓血管外科)

嶋田 晶江
山本 平、土肥 静之

XII-5 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に合併した下肢動脈閉塞に対し、Fogarty血栓摘除術にて救肢し得た1例

(JCHO 東京新宿メディカルセンター 循環器内科) 亀井 淳矢
齊藤 哲也、坂本 知也、今村 堂大、竹山 誠、
吉田 えり、檜崎 容史、谷地 織、綾部 征司
(JCHO 東京新宿メディカルセンター 呼吸器内科) 清水 秀文
(三井記念病院 心臓血管外科) 竹谷 剛

XII-6 左上腕動脈閉塞による左上肢跛行の一例

(横須賀市立うわまち病院) 黒木 茂
武内 章悟、加藤 聡、吉田 稔、前田 幸祐、
岡田 拓也、島村 浩正、泊口 哲也、水政 豊、
荒木 浩、岩澤 孝昌、沼田 裕一

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部役員)

第4条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
- 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
- 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条

- 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習

- 会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
 6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 7 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

（地方会会長）

第 8 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多にならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座

開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。

10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第9条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第10条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第11条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。

13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第12条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第13条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。
- 2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。
- 3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。
- 4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

MEMO

MEMO



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



Medtronic



Resolute Onyx
DES

Onyx ONE on IFU Now!

添付文書の“臨床成績”欄に
掲載されました

販売名 / 医療機器承認番号
リゾリュートオニキスコロナリステントシステム / 22900BZX00186000
リゾリュートオニキスSVコロナリステントシステム / 30100BZX00060000

日本メドトロニック株式会社

medtronic.co.jp

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。

© 2022 Medtronic. 007293_MIV935_1



高脂血症治療剤

薬価基準収載

パルモディア[®]錠 0.1mg
PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ベマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

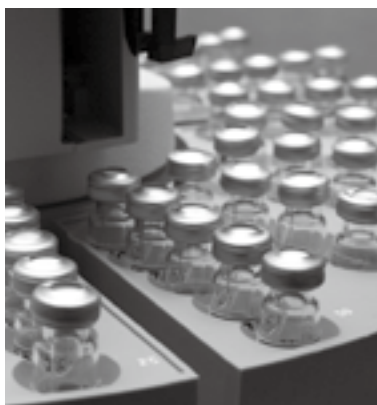
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2020年9月作成

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェン株式会社
の詳細につきましては
こちらをご覧ください



アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。

バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。

40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。

日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社 **AMGEN[®]**



経口FXa阻害剤

処方箋医薬品^注 薬価基準収載

エリキュース錠 2.5mg
5mg

Eliquis. (アピキサiban錠)
(apixaban/tables)

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

■ 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 **プリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社**

〒163-1328 東京都新宿区西新宿6-5-1
文脈請求先及び問い合わせ先: メディカル情報グループ TEL:0120-093-507
販売情報提供活動に関するお問い合わせ窓口: TEL:0120-487-200

販売元 **ファイザー株式会社**

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
文脈請求先及び製品の問い合わせ先:
製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467
販売情報提供活動に関するご意見: 0120-407-947

2021年10月作成
432JP21PR0737804



hvc
human health care

患者様の想いを見つめて、
薬は生まれる。

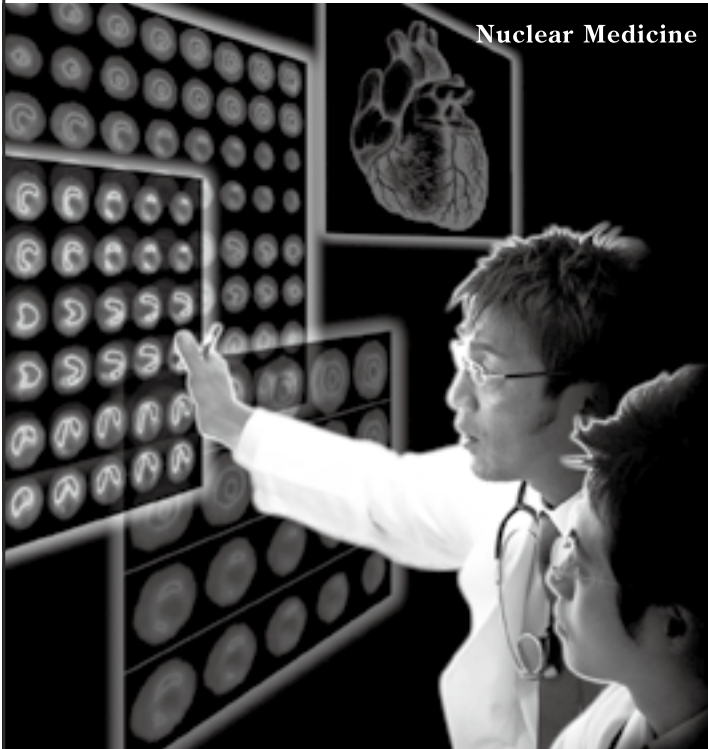
顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



A FUTURE FREE WORLD
Small Text

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬・甲状腺疾患診断薬
腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)診断薬

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP

日本薬局方塩化タリウム(²⁰¹Tl)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

放射性医薬品・心疾患診断薬

カルディオサイン[®]注

放射性医薬品基準15-(4-ヨードフェニル)-
3(R,S)-メチルペンタデカン酸(¹²³I)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー[®]注シリンジ

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(^{99m}Tc)注射液

処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー[®]「注射用」

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(^{99m}Tc)注射液調製用

®:登録商標

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先

 日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでSPECT検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂

フクダ電子は
医療機器専門メーカーとして
皆さまの健康をサポートします。



支える。
医療の未来を

フクダ電子西関東販売株式会社 〒336-0031 埼玉県さいたま市南区鹿手袋4-5-10 TEL. (048) 710-2265(代)
●川越営業所

フクダ電子ライフテック関東株式会社 〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島1-10-3 TEL. (048) 836-1731(代)
●宇都宮営業所 ●前橋営業所 ●川越営業所 ●熊谷営業所

フクダ電子株式会社 お客様窓口 (03)5802-6600 受付時間:月~金曜日(祝祭日、休日を除く)9:00~18:00

不整脈治療への新たな入口 ～着るという選択～

ZOLL

着用型自動除細動器

LifeVest®

医療機器承認番号: 22500BZJ00017000
一般的名称: 着用型自動除細動器
販売名: 着用型自動除細動器 LifeVest
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器



使用目的、効能又は効果

本品は、心室頻拍又は心室細動による心臓突然死のリスクが高いが植込み型除細動器(以下「ICD」という。)の適応の可否が未確定の患者、又はICDの適応だが患者の状態等により直ちにはICDが植え込めない患者を対象として、除細動治療を目的に使用する。ICDの適応の可否が確定するまでの期間、又はICDの植込みを行うまでの期間使用する。



〈製品に関するお問い合わせ・資料のご請求先〉

旭化成ゾールメディカル株式会社
TEL ☎ 0800-919-3267

(LifeVest事業本部)

東京都港区西新橋二丁目1番1号 興和西新橋ビル 〒105-0003
TEL: 03-6273-3534 FAX: 03-6800-2785
URL: <http://www.ak-zoll.com>

